

B01 を中心とする融合研究会議

日時：1月11日（木）、10:30-18:00

1月12日（金）、9:00-17:00

場所：東大地震研2号館5階第一会議室

---

講演者に\*印

1月11日（木）

10:30-10:35 挨拶（竹下）

Session 1. 中央構造線断層帯の発展、岩石-流体相互作用と軟化

10:35-10:55（ただし、竹下が遅れる場合は次の講演を先に行う）、10:55-11:05 議論

三重県中央構造線断層帯の発展：歪の局所化と軟化について

\*竹下 徹・Tom Czertowicz・荒井 駿・山本貴史・安東淳一・重松紀生・藤本  
光一郎

11:05-11:25, 11:25-11:35 議論

紀伊半島東部の中央構造線沿いにみられる変形の多様性とその空間分布

\*香取拓馬・重松紀生

11:35-11:50, 11:50-12:00 議論

中央構造線断層帯の脆性-塑性遷移領域での変質作用

\*藤本光一郎, 田中伸明, 重松紀生, 森宏, 阿部田門

12:00-13:30

昼食休憩

13:30-13:45, 13:45-13:55 議論

中央構造線断層帯を構成するカタクレーサイト中の流体を介した元素移動

金子由実・\*竹下 徹・渡部悠登・重松紀生・藤本光一郎

13:55-14:15, 14:15-14:25 議論

Evolution of the Median Tectonic Line fault zone, SW Japan, during exhumation

\*重松紀生・亀高正男・稲田徳之・宮脇昌弘・宮川歩夢・亀田 純・東郷徹宏・藤本光一郎

14:25-14:40, 14:40-14:50 議論

紀伊半島中央部の高見山の中央構造線露頭

井守智大, \*藤本光一郎, 重松紀生

14:50-15:05, 15:05-15:15 議論

スメクタイトの膨潤作用とその断層強度への影響

\*亀田純・宇野正起・稲生千咲・重松紀生

15:15-15:30, 15:30-15:40 議論

三重県飯高町栗野-田引露頭より採取した中央構造線断層ガウジの摩擦特性

\*高橋美紀・稲生千咲・亀田純・佐久間博・重松紀生

15:40-15:55

コメント： 地殻中部の断層強度

\*清水以知子

15:55-16:10

休憩

Session 2. 下部地殻の高温破壊とモデル

16:10-16:25, 16:25-16:35 議論

下部地殻の粉碎岩 (Pulverized rocks in the lower crust)

曾田祐介・\*奥平敬元

16:35-16:55, 16:55-17:05 議論

脆性・塑性遷移を考慮した地震サイクルモデルについて

\*野田博之

17:05-17:25, 17:25-17:35 議論

タイトル未定

\*安藤亮輔

17:35-18:00

本日の講演についての総合討論

1月12日(金)

(藤内さんの都合で、Session 1.に属する本講演をここに移動)

9:00-9:15, 9:15-9:25 議論

中央構造線沿いの湧水の分析：深部流体成分

中村笑佳・西尾嘉朗・\*藤内智士・風早康平

Session 3.

鳥取県地震断層における地質観察と地震観測の融合研究

9:25-9:55, 9:55-10:10 議論

「2000年鳥取県西部地震余震域に発達する断層の発達過程の解明」

\*内田嗣人, 向吉秀樹, 藤内智士, 金木俊也, 小林健太, 廣野哲朗

「2000年鳥取県西部地震余震域における地質構造と余震分布との関係について」

\*向吉秀樹, 内田嗣人, 高松洋太, 松原 透

10:10-10:35, 10:35-10:45 議論

断層帯の発達過程と周辺地質構造との関係—熊本・鳥取西部地域の例—

\*小林健太・小柏景司

10:45-11:00

休憩

11:00-11:15, 11:15-11:25 議論

0.1 満点観測で得られた発震機構解の特徴 (序報)

\*松本 聡, 飯尾能久, 酒井慎一, 加藤愛太郎, 林田祐人

11:25-11:45, 11:45-11:55 議論

0.1 満点観測から見えてきた震源域の微細構造 (仮題)

\*加藤愛太郎・松本 聡・酒井慎一・飯尾能久

11:55-13:00

昼食休憩

13:00-13:20, 13:20-13:30

タイトル未定

\*飯尾能久

Session 4. 熊本地震融合研究 (司会: 大橋聖和)

13:30-14:00, 14:00-14:30, 議論

4 講演: タイトル未定

\*松本 聡、\*大坪 誠、\*安藤亮輔、\*大橋聖和

14:30-14:40

熊本地震時の九州における地震波速度の時空間変化

辻 健ほか (\*竹下 徹代理発表)

14:40-14:55

休憩

Session 5. 上部地殻変形の素過程: 特に圧力溶解について

14:55-15:25, 15:25-15:40 コメント・議論

タイトル: 圧力溶解クリープの素過程: 現状と展望

\*西山直毅

コメント・議論 (野田博之、清水以知子、竹下 徹ほか)

15:40-15:55, 15:55-16:05 議論

コメント： 岩塩の圧力溶解クリーブ

\*高橋美紀

16:05-16:15

休憩

16:15-17:00

B01 のこれまでの研究成果と今後の融合研究の戦略（司会：竹下 徹・松本 聡）